

令和5年度 シラバス

| | | | | |
|-----|-----|----|-------|-------|
| 科目名 | 単位数 | 学年 | 必修・選択 | 対象学科 |
| 製 図 | 2単位 | 3 | 必修 | 設備工業科 |

1 科目の目標

設備工業製図に関する基礎的な知識や理論を習得させ、消火設備全般について学習する

2 教科書

設備工業製図（文部科学省）

3 科目全体の評価の観点と趣旨

| | | |
|----------|---|--------------------------|
| 関心・意欲・態度 | 設備工業製図に関する諸問題について関心を持ち、また、意欲的に取り組み、創造的・実践的な態度を身につけている。 | 出席状況、学習態度(服装、教科書ノート) 提出物 |
| 思考・判断 | 設備工業製図に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、創意工夫する能力を身につけている。 | 製図課題(思考力) |
| 技術・表現 | せう美工業製図に関する技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現できる。 | 製図課題(思考力) |
| 知識・理解 | 社会における設備工業製図の意義や役割を理解し、それに関する基礎的な知識を身につけている。 | 課題図面における表現力や文章力 |

4 評価の方法

各教科の評価は1，2学期が100点法（素点）、3学期が5段階評価で出される。

評価の規準としては、提出物（製図課題）、日々の授業態度や出席状況をみます。

| | | |
|----------|-------|-----------|
| 定期テスト60% | 出席20% | 態度・提出物20% |
|----------|-------|-----------|

評価記載方法

- ・100点法
- ・5段階評価

| 評価内容 | 100点法 | 5段階評価 |
|--------|--------|-------|
| 特に高い程度 | 100－80 | 5 |
| 上と中の中間 | 79－65 | 4 |
| ほぼ達成 | 64－50 | 3 |
| 中と下の中間 | 49－35 | 2 |
| 特に不十分 | 34－0 | 1 |

5. 年間指導計画表

| 学期 | 月 | 時間 | 学習内容 | 学習目標 | 評価方法 |
|----------|---------------------|----|--|--|----------------|
| 1 学期 | 4 5 6 7 | 24 | 第3章 衛生防災設備設計製図 | ・衛生防災設備に関する製図について、日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、設計図に関する課題を発見し主体的に取り組むことができる。 | ・製図課題 ・行動観察 |
| | | | 第4章 空気調和設備設計製図 第5章 電気設備製図 第6章 設備施工図 | ・空気調和・電気設備及び設備施工図について、日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、設計図に関する課題を発見し主体的に取り組むことができる。 | |
| 1学期の評価方法 | | | | 製作課題 勤怠状況で総合的に判断する。 | |
| 2 学期 | 9 10 11 12 | 34 | 第7章 コンピュータによる設計製図 CADEWA 空調設備（配管・ダクト） 衛生防災（汚水・雑排水） | ・コンピュータ設計支援ソフト活用により、設備設計製図の取り扱いについて基礎的な事項を理解し関連する技術を身に付けている。 ・コンピュータ設計支援ソフト活用により、基礎的な作画及び編集でき、設計支援ソフトの取り扱いについて理解している。 | ・製図課題 ・行動観察 |
| | | | 2学期の評価方法 | | |
| 3 学期 | 1 2 | 12 | CADEWA （コンピュータ設計支援ソフト） | ・設備工業製図に関する課題を見い出すとともに図面修正や解決策を考え主体的かつ協働的に取り組むことができる。 | ・製図課題 ・行動観察 |
| 3学期の評価方法 | | | | 製作課題 勤怠状況で総合的に判断する。 | ・課題発表 |